

編集後記

わが国における新型コロナウイルス感染症の状況は、2021年12月中旬の現在では感染者数は低く抑えられている。緊急事態宣言の解除後から、学会や研究会はハイブリッド開催、さらには対面式の現地開催が再開され始めている。一方、zoomなどの単独web開催も安定して行われるようになり、盛んになってきている。開催地まで移動せず気軽に出席できることは便利になったが、週によっては連日で夕方からセミナーや会議が予定されることはまれではなくなった。ひどいときには丸々1週間休みなく続いたうえに、夕方の同じ時間帯に3つのセミナーが重なることも出てきた。単位が必要な場合は1つに絞れるが、実際には製薬会社や器械会社の縛りのないセミナーなどで興味深いテーマであることが多く、本当に聞きたい場合も少なくない。このような場合には、読者の皆様はどうされているだろうか。

小生は興味深いセミナーが3つ重なったときには、順位をつけてどうしても聞きたいテーマの2つに絞る。そして1つは諦めるようにしている。というか、3つ同時に聞くことは聖徳太子でもないので無理である。かといって、2つ聞いたとしても、まともに100%聞き取れず、50%50%であったとしても相当頭が疲れる。疲れているときは、20%20%程度になる。いや、20%10%程度かもしれない。音量も通常よりもかなり下げて調整しないと頭がおかしくなる。音量を半減させて、片方が聞きたい話題になれば、そちらの音量を上げて聞く。しかし、反対の話題も気にしながら聞くので集中できない。さらに、そのときにLINEが入ると大変である。重要案件だとなついつい下を向いてチェックすることがある。それに関連した内容で未読のPCメールを思い出してしまうと、そちらもこなしてしまう。冷静になってみると、いったい自分は何をしているのかわからなくなってしまう。セミナーが終了したときには疲労困憊になる。

先日、久しぶりに対面式のみの研究会が京都で開催された。移動することがとても気分転換になり、大いに勉強ができた。場所を変えて移動すると、物理的に出席できないセミナーや委員会などには正当な理由を堂々と述べて欠席できる。ただし、これが毎週行われていたビフォーコロナの時代にいきなり戻ると、たとえ重複参加ではないにしても移動もあり体力がもつか心配になる。毎週の現地開催時代に戻るのとはとても楽しみだが、今は怖い気もする。

(高平尚伸)

令和4年2月19日発行

関節外科－基礎と臨床－ Journal of Joint Surgery Vol.41 No.2

発行：年14回（年12回発行+増刊号2回）

編集顧問 井上 一／高倉義典／進藤裕幸／筒井廣明／吉矢晋一

編集主幹 帖佐悦男

編集委員 山崎正志／田中康仁／岩堀裕介／内尾祐司／尾崎敏文／高平尚伸／岡崎 賢／國吉一樹

発行人 三澤 岳

発行 (株)メジカルビュー社

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2-30

TEL 03-5228-2050／FAX 03-5228-2059

ホームページ <https://www.medicalview.co.jp>

email eigyo@medicalview.co.jp（営業部）

jjs@medicalview.co.jp（『関節外科』編集部）

印刷所 三報社印刷（株）／〒136-0071 東京都江東区亀戸 7-2-12

・本誌に掲載された著作物の複製権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、上映権、データベースへの取り込みおよび公衆送信権（送信可能化権を含む）、譲渡権等は（株）メジカルビュー社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, email info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

・本誌をコピー、スキャン、デジタルデータ化するなどの複製を無許諾で行う行為は、著作権法上での限られた例外（『私的使用のための複製』など）を除き禁じられています。大学、病院、企業などにおいて、研究活動、診察を含み業務上使用する目的で上記の行為を行うことは私的使用には該当せず違法です。また私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

広告申込先：（株）文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 宮田ビル 5 階 TEL 03-3814-8541

福田商店広告部 〒540-0024 大阪市中央区南新町 2-4-3 グランドソレイユ 1 階 TEL 06-6231-2773